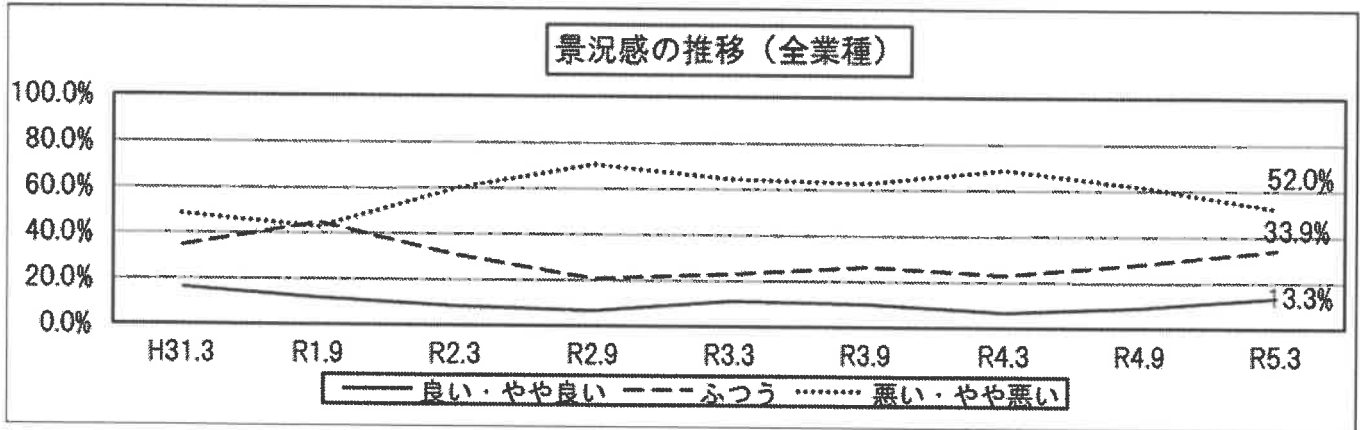


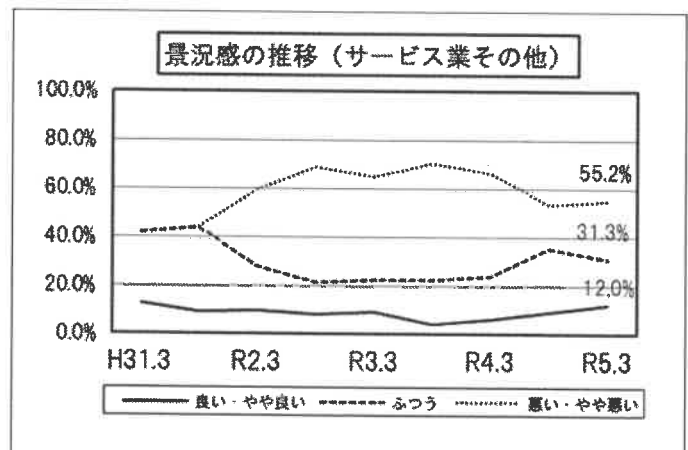
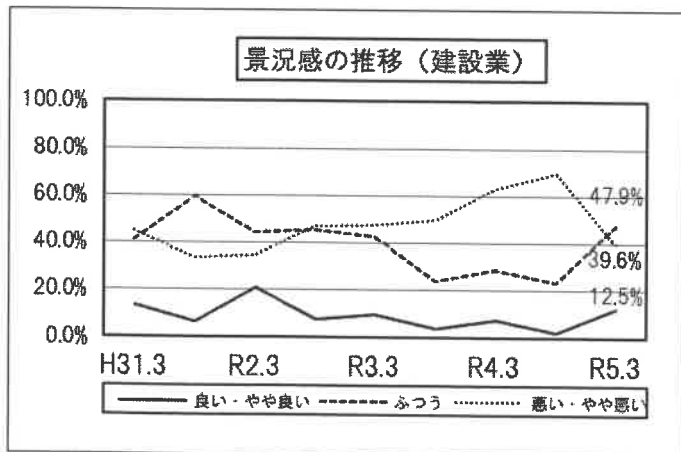
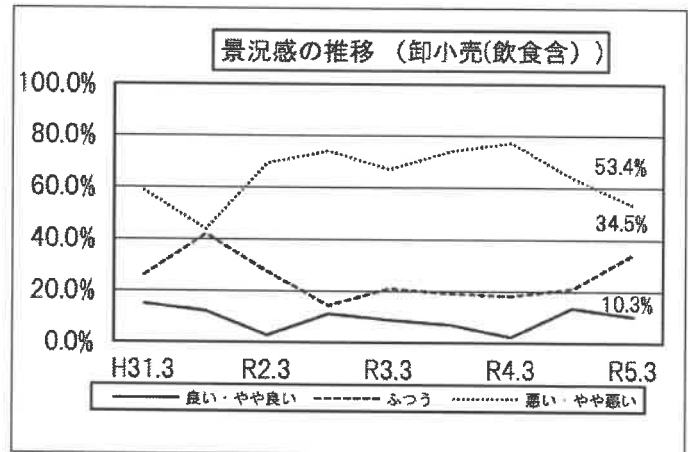
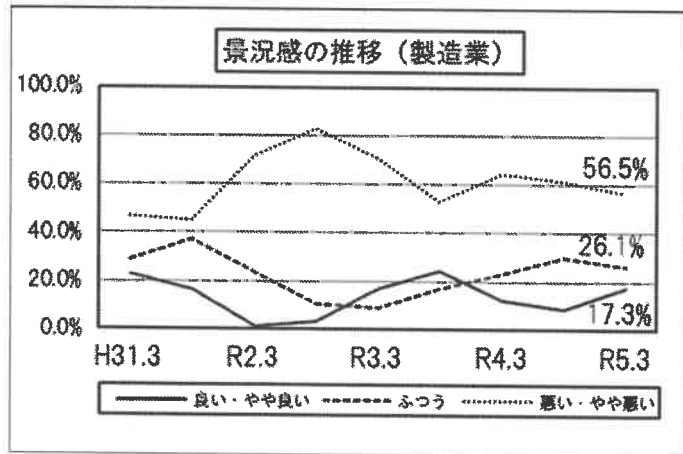
【概況】

— 景況感 「建設業」で大幅に改善 —

年2回会員の皆様にご協力を頂き実施している景況調査の令和5年3月分（会員企業242社より回答）がこのほどまとまった。全業種平均の景況感では、「良い・やや良い」の数値は13.3%（前回9.2%）で4.1ポイント増加し、「悪い・やや悪い」の数値は52.0%（前回61.3%）と9.3ポイント減少となった。



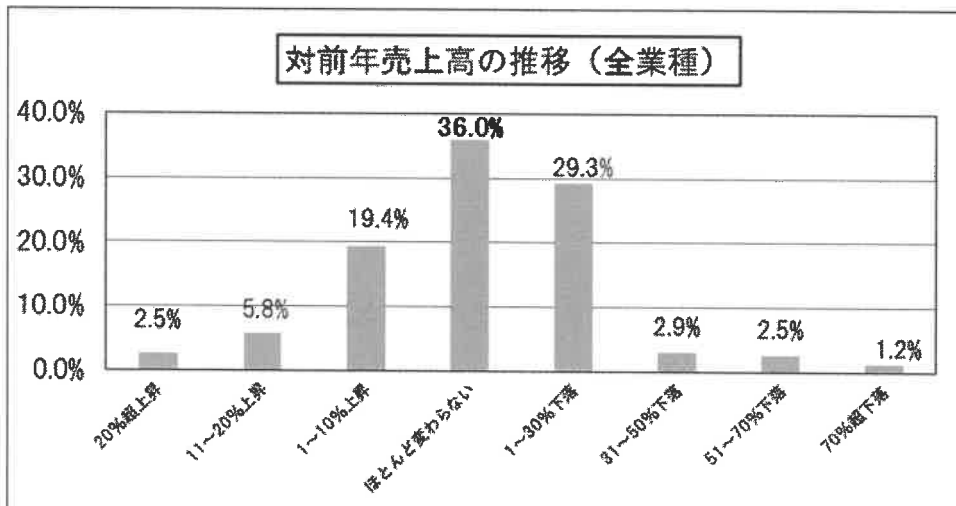
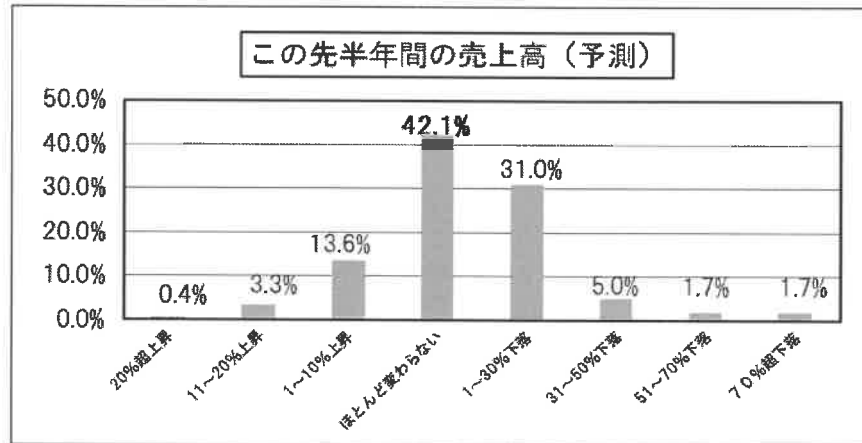
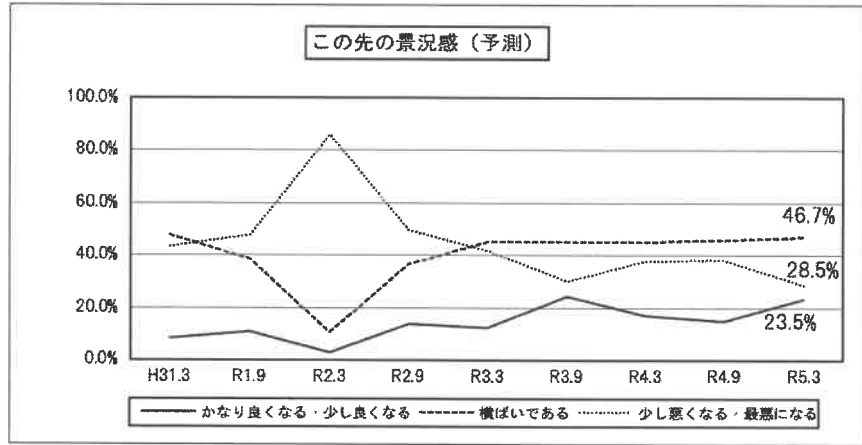
業種別においては、製造業「悪い・やや悪い」が56.5%（前回調査61.4%）、卸小売、飲食含でも「悪い・やや悪い」が53.4%（前回調査63.8%）サービス業その他「悪い・やや悪い」が55.2%（前回調査53.9%）となった。建設業においては「悪い・やや悪い」39.6%（前回調査69.8%）と大幅に改善しており、回復傾向を示す結果となった。



《景気・売上高の見通し》

この先の景況感予測では、全業種平均で「横ばい」が46.7%（前回調査45.8%）であり、「少し悪くなる・最悪になる」が28.5%（前回調査38.0%）で、前回より9.5ポイント減少し、「かなり良くなる・少し良くなる」は23.5%で（前回調査15.1%）。8.4ポイント増加した。

また、この先の売上高予測においては、「ほとんど変わらない」が42.1%（前回調査33.2%）で、8.9ポイント減少する結果となった。



《売上高》

対前年売上高では「ほとんど変わらない」が36.0%と最も多く、次いで「1~30%下落」が29.3%となった。製造業においては、「1~30%下落」が33.3%と最も多い結果となった。

「ほとんど変わらない」では卸小売（飲食含）が36.2%（前回調査22.5%）13.7ポイント増加、建設業は39.6%（前回調査30.2%）となり、9.4ポイント増加、サービス業その他は38.8%（前回調査32.1%）となり6.7ポイント増加となった。

